

三重中央開発(株) 最終処分場 維持管理計画

	基準	適合計画
a	覆土の方法	即日覆土
b	作業人数	5人
c	埋立工法	サンドイッチ・セル工法
d	埋立作業時間	8時～17時
e	搬入経路	県道上野島ヶ原線～市道西出鉢屋線
f	搬入台数	10t車 20台
g	日平均埋立量	150m ³ /日
h	浸出液量	294m ³ /日
i	搬入時の廃棄物の確認	計量時マニフェスト伝票及び荷下ろし展開時に目視により確認
j	飛散・流出の防止	即日覆土及び転圧・締固めにより飛散・流出を防止
k	悪臭の防止	即日覆土及び転圧・締固めにより悪臭の拡散を防止
l	火災の発生防止	即日覆土及び転圧・締固めにより火災の発生を防止 緊急用覆土材を処分場内に常備する
m	衛生害虫等の発生防止	即日覆土及び転圧・締固めにより害虫の発生を防止
n	囲い	囲いの破損がないか目視点検し、破損が確認された場合は直ちに改修する
o	立札	立札の破損がないか目視点検し、破損が確認された場合は直ちに改修する
p	擁壁等の保全	毎日(営業日)目視点検を行う
q	遮水工の管理	毎日目視点検を行う
r	浸出液処理施設	自社員が毎日点検を行う
s	地下水分析項目及び頻度	地下水点検項目及びダイオキシン類 1回/年 電気伝導率または塩化物イオン 1回/月 pH、BOD、COD、SS、窒素含有量 1回/1ヵ月 分析頻度：処理水の放流がある限り、放流水の分析頻度は1回/1ヵ月とする。しかし、本施設では浸出液は浸出液処理設備で処理し、排水濃縮結晶化設備で蒸留し水利用しているため、原則放流はない。但し、2ヵ月に1回排水濃縮結晶化設備の定期点検を行う際は、浸出液処理設備で処理した処理水を放流するため、放流水の分析を実施する。その結果を記録している。
t	放流水分析項目及び頻度	排水基準項目及びダイオキシン類 1回/年
u	開渠その他の設備管理	毎日点検及び適宜清掃を実施
v	発生ガスの排除	ガス抜き管により放出。
w	開口部の閉鎖	最終覆土 1m
x	記録及び保存	毎年3月末に残余容量を測定し記録する。維持管理記録は永年保存。
y	最終処分場の閉鎖	廃止基準に従う